

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **植物学者** その仕事や夢を選んだ理由
 植物のせいぶんを使い、地球上のすべてのいきものをまもりたいから。

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
 ・塾へ行くためのお金。・甲斐犬のエサせ、ML代。・世界に売るためのお金。
 ・留学するためのお金。・家に住むためのお金。
 ・アメリカで生活するためのお金。

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳	小学校 ・学校では、チームワークをがんばる。 ・植物の本などを読み、もっと植物について詳しくなる。
13歳 15歳	中学校 ・チームワークを大切にするため、バスケットボールにはいる。 ・塾にはいり、もっとちしきをえる。
16歳 18歳	高校 ・大学にむけて、受験勉強。 ・勉強だけでなく、友だちとあそび、人付き合いも大切にする。
19歳	大学 生物の学校にはいる。
25歳	アメリカに留学 大学院で、博士の免許をとる。
28歳	就職し、チームをつくる。
30歳	植物の会話をつかい、動物としゃべれるようになるための研究スタート!!
36歳	がんばり、世界に売る!!

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
 ・甲斐犬をかう!! ・お金持ちになる!!
 ・広い家にすむ。・人に好かれる人になること。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

植物で地球上の命を守る

筑波大学附属小学校 四年 中澤 晴子

私の将来の夢は、植物学者だ。
 私が将来の夢について考え始めたのは、三歳の頃だ。英語の先生に将来の夢を聞かれ、その時、私は動物が好きだったから、動物園の飼育員と答えた。その日から、動物園や、水族館にかよい始めた。中でも好きだったのは、サルだった。動物園(ズーラシア)では、たくさんのサルがいた。木と木の間をゆうゆうと移動するものもいれば、石の上で、くだものを食べているものもいた。人間のよういろいろな動きをするから好きだった。私は四歳の頃、東京へひっこして来た。水族館は、近くなかったが、自転車で行くべきよりに、上野博物館、上野動物園があった。私はまず、上野博物館へ行ってみた。入館し、そこで、目にとまったのは、フロアの地図の中にある、三階の動物のはくせいだが、ずらりとならぶ、大地を駆ける生命というてんじ。そこへ、

すぐ行った。そこには、トラなどの大きな動物から、ネズミなどのとても小さい動物までのはくせいならんでいた。私はすぐ、近くに、かけより、一つ一つのはくせいを見てまわった。どれも、すぐ動きそうなくらい本物そっくりだった。私は、上野博物館に行く時、かならず、そこに行くようになった。今でもよく行っている。そして、その後、上野動物園にも行った。私は、いろんな動物を見て歩き、写真もいっぱい撮った。そして、サルのエリアにたどりついた。そこには、ズーラシアにて、いろいろなサルがいた。そしてふと目にはいったのは、おりの近くに、はえてる草だった。その草を、お父さんと、家でしらべた。それが植物にきょうみを持つたきっかけだった。ある日、テレビを見ていたら、NHKの番組が始まった。そこで、私は、おどろいた。そこには、植物は、自分が何か

に、食べられたり、さわられたりした時、その周りの植物につたえられるという。私はこのじょうほうを聞き、思った。「これなら、世界中の生物をたすけられるかもしれない。」
 私は、何か方法がないかと考え、思いついた。植物のせいぶんを研究し、動物としゃべれるせいぶんを見つけられれば、さがいなどの時、動物に声をかけられるかもしれないし、動物から、いたい所などを聞けば、そこをちりようしたら、命がすぐえるかもしれない。このように、人間が、動物に、言えない、もしくは、動物が、人間に言えないことがなくなり、平和になるかもしれない。そして、大きな命から小さな命を守り、より多くの地球上の生物を守るかもしれない。これが、私の大きな、将来の夢だ。